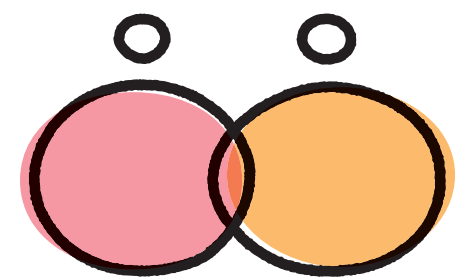


参加者
募集

被災地支援プロジェクト



今できること
プロジェクト
2014

情報発信を学んで、被災地で実践するプロジェクト

情報発信セミナー&バスツアー

秋の七ヶ浜を味わう!

情報発信することで、
被災地の復興を応援しよう。

被災地支援のひとつのかたちとしてソーシャルメディアやブログなどを活用する「情報発信」があります。「今できることプロジェクト」では、その知識と技術、実践法を学ぶセミナーを開催します。その後、被災地七ヶ浜に訪れ、現地の様子などを体感しながら、情報収集・発信を実践します。ぜひ、情報発信を覚えて、被災地支援に参加してください。

セミナーで勉強すること

☐ 情報発信の基本

☐ ソーシャルメディアの使い方

☐ 情報収集の仕方

☐ 上手な写真の撮り方

☐ 効果的な発信の仕方

ぼっけ、うんめえ～よ。
七ヶ浜を「食」で元気にするよ。

震災後、七ヶ浜の漁業関係者の多くが仕事を再開させました。ですが、たとえばアワビの稚貝が手に入りにくく、生産調整せざるを得ないなど厳しい状況は続いています。観光の柱だった菖蒲田浜の海水浴場も再開されていません。私は七ヶ浜の海の幸を通じて町の魅力を伝え、多くの人を呼び込みたいと考えています。力を入れているのが間もなく旬を迎える「ぼっけ(ケムシカジカ)」。汁物や刺身、唐揚げなど、その身を余すところなく食べられる美味しい魚で、地元では昔から親しまれてきました。

ツアー当日はぼっけ汁を用意します。気持ちのこもった汁を食べ、私たちの姿を間近に見てもらい、感じたことを発信していただければ嬉しいです。

七ヶ浜ぼっけ倶楽部「七友会」 鈴木直也さん



情報発信セミナー講師から
管理栄養士・齋藤由布子さん

震災後ツイッターで情報発信、
多くの人とつながりました。

震災直後、何もできないうちに感じた時、ツイッターで流した情報が被災者の役に立ったことがありました。それを知ってから情報発信を続けています。仕事やプライベートで被災地を訪ねることが多く、現地の方とつながってニーズなどを発信しています。発信する情報は興味する必要があると思いますが、携帯やスマートフォンがあれば誰にでもできます。セミナーでは、発信する際のトラブルや注意点などを伝えたいと思います。1人でも多くの人に関心を持ってもらえたら嬉しいです。



カメラ講師から
プロカメラマン・相澤健治さん

基礎的なカメラワークとコツを教えます。

一般的なデジタルカメラや一眼レフカメラの基礎的な知識やスマートフォンで撮影する際の注意点を解説します。また被災地を訪ねた際に撮影する機会の多い、風景や人物についてのコツなど実演を交えながら進めていきます。



学習編(どちらかの日程)と実践編の両方に参加できる方を募集します。

応募締切
10月16日(木)
必着

学習編…情報発信セミナー

実践編…情報発信バスツアー

実施日/2014年10月25日(土)または10月27日(月)

実施日/2014年11月2日(日)

- 日程/いずれかにご参加ください。 ●時間/午後1時～3時
- 会場/河北新報社1Fホール(仙台市青葉区五橋1-2-28) ●定員/各30名
- 内容/◎講義1:「被災地の思いをつなぐ～私の情報発信法～」講師=齋藤由布子さん 内容=情報発信の方法や必要さと、発信する際に気をつけなければいけないこと
◎講義2「プロが教えるカメラのコツ」講師=相澤健治さん 内容=SNSを発信する時に使う一眼レフコンパクトデジカメスマートフォンについて基礎的な撮影のコツを解説

- 時間/午前9時～午後5時(予定)
- 行程/●午前9時 河北新報社より出発(貸切バス)
●多聞山にて語り部の講話 ●昼食(七ヶ浜産ぼっけ汁・おにぎりなど)
●地元漁師さんなどの意見交換会 ●町内の砂浜での清掃活動
●午後5時 河北新報社にて解散

募集
概要

- 参加費用/「今できることプロジェクト」の一環として、河北新報社が招待します。ただし、《実践編》情報発信バスツアー・昼食代の一部1名500円は参加者負担にてお願いします。また、河北新報社発行「東日本大震災全記録～被災地からの報告～」(定価1,500円)を進呈いたします。
- 参加条件/①「今できることプロジェクト」の趣旨に賛同し、情報発信型支援についての理解をより深めたいと考えている方。
②《学習編》(どちらかの日程)と《実践編》の両方に参加できる方。
③当日配布する、当プロジェクトについてのアンケートに記入いただけること。
④当日顔写真を撮影させていただき、後日アンケート内容とともに新聞および特設HPに掲載させていただく場合があることをご了解いただける方。

応募
方法

はがき、メールにてお申し込みください。

- 応募者の住所・氏名・年齢・電話番号(日中連絡がつきやすい電話)、応募動機、参加希望人数・参加希望者全員の氏名・年齢・《学習編》参加希望日(10月25日または27日)を明記してください。
※応募多数の場合には抽選となります。当選通知は当選者の方にのみご連絡いたします。
※ご記入いただいた個人情報(住所)は河北新報社で管理し、当プロジェクトの運営にのみ使用します。
- 応募先/今できることプロジェクト「情報発信型支援」係
- はがき/〒980-8660(住所記入不要)
- Eメール/imadeki-info@po.kahoku.co.jp
※係名は必ずご記入ください。

皆さんの支援情報や参加しているプロジェクト、感じていることを「今できることプロジェクト」特設HPにお寄せください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/index.html

河北 今できること

検索

facebookページもあります。

●私たちも、被災地支援のため「今できること」をともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI/アヴィエスホーム/アサヒビール 東北統括本部/岩手日日新聞社/エイチ・アイ・エス/NTTデータ東北/キヤノンマーケティングジャパン/キリンビールマーケティング 宮城支社/ケースデンキ/劇団四季/サッポロビール 東北本部/サントリービバ&スピリッツ 東北支社/JA全農みやぎ/JTB東北/尚絅学院大学/住友生命 仙台総支社/青南商事/生命保険協会 宮城県協会/セキスイハイム東北/石油連盟/仙台育英学園/第一生命 仙台総合支社/大東住宅/タゼン/伝承千年の宿 佐勘/東北ミサワホーム/東北三菱自動車販売/日本製紙/日本製紙クレシア/日本生命 仙台支社/野村不動産 仙台支店/はとバス/ビルワーク/藤崎/富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ/北洲ハウジング/松田会/三井不動産/三菱地所グループ/宮城県建設業協会/宮城県自動車整備振興会/みやぎ生活協同組合/明治安田生命 仙台支社/森永乳業/リコージャパン 東北事業本部/平松剛法律事務所/河北新報社(順不同)

◎後援/宮城県、仙台市、名取市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、名取市教育委員会 ◎協力/東北グリーン復興事業者パートナーシップ

【お問い合わせ】今できることプロジェクト事務局/河北新報社営業部 tel 022-211-1318